

【意外と知らない！？】ネギ施肥のポイントとミネラルリレー【中編】

※このメールは有料会員様のみにお送りしております。※

こんにちは、ネギ参謀です！

いつもご愛顧いただきありがとうございます。

今回は、ネギ施肥のポイントの【中編】となります。

前編では定植前までの施肥のポイントをお伝えしました。

中編では、いよいよ定植から収穫までの施肥のポイントとなります。

(本来は、前編後編の2部作の予定でしたが、ボリュームが多くなってしまったため、3部作に分割させて頂きました。)

前編と今回の中編を合わせると、ネギの施肥の基礎からこれまでと差がつくポイントまで、総合的にご理解いただける内容となっております。

施肥における非常に大事なポイントがいくつかありますので、ぜひ最後までご覧いただければと思います。

目次

1. ネギのNPK(窒素・リン酸・カリ)の施肥量
2. ネギのミネラル(微量元素)の施肥
3. ネギの炭水化物(CHO)の施肥

1. ネギのNPK(窒素・リン酸・カリ)の施肥量

■ 基本的なネギの施肥量

ネギ栽培における、基本的なトータルNPK量は、反あたりN：20kg - P：25kg - K：20kgとされています。しかし、後述する「微量元素(ミネラル)」や、「炭水化物」を十分に施せるのであれば、「**N・P・Kそれぞれ15kg/反**」ほどでも十分立派なネギを収穫する事が可能となります。